

会期延長反対 戦争法案きっぱり廃案！

安倍首相またもや「政府の判断」を主張 衆院予算委員会

18日開かれた衆議院予算委員会で安倍首相は、集団的自衛権行使についての考え方を問われ、「かつては自衛権があるか、ないかという論争さえあったが、最高裁砂川判決によって自衛権があることが判断された。その時々の内閣が、『必要な自衛の措置』とはなにかを考えるのは当然。ミサイル防衛能力を使うには日米協力が必要、状況が大きく変わっている。『必要な自衛の措置』とは何か、突き詰めて考える責任がある。国際情勢に目をつぶり、従来解釈に固執するのは政治家としての責任放棄だ」などと答弁しました。

破たん済みの理屈を懲りずに並べ、恣意的な「政府の判断」に固執、「私が国家」といわんばかりの強権ぶりを示して開き直す姿は、極めて危険といわなければなりません。それが民主主義とは相容れない、強権で道理を引っ込めさす乱暴な政治にほかならないことは誰の目にも明らかです。

世論と運動を圧倒的に大きくし、今週末に行われる世論調査に影響を及ぼし、安倍政権に大打撃を与えることが求められます。

明日特別委員会 野党質問のみ

明日19日、9時から12時の日程で特別委員会が行われます。質疑は野党のみの3時間。民主党1時間38分（辻元清美議員、寺田学議員）、維新の党54分（鈴木義弘議員、篠原豪議員）、日本共産党28分（宮本徹議員）の質疑です。

傍聴で世論を委員会へ

座り込みの中から特別委員会を傍聴し、世論と運動を直接委員会室に届けることは重要です。積極的に傍聴しましょう（傍聴希望は、憲法会議〔080-1306-6303 平井〕または志位和夫事務所〔電話03-3508-7285〕へ）。

瀬戸内寂聴さん 気迫の訴え—木曜行動2000人 1000人が参加 国会前座り込みは4日目

総がかり行動実行委員会

5回目となった18日の連続木曜行動には瀬戸内寂聴さんが駆けつけ、車椅子で登場、話は立ち上がり「良い戦争はない。戦争はすべて人殺し。二度と起こしてはならない」「どうせ死ぬなら、このままじゃ駄目と言って死にたい」と心こめて語り、参加者を激励しました。

朝からの座り込みにはのべ1000人、連続木曜行動では議員会館前を参加者がぎっしり埋め、その数2000人以上の参加となりました。